



稲作講習会

内容

- ☆新稲作ごよみの内容説明
- ☆健苗育苗と田植後の管理まで
- ☆初期除草剤の使用方法の変更について

時間

- * 午前の部・10:00 より
- * 午後の部・1:30 より

各支店の日程

皆様お誘いの上、お気軽にご参加ください。

日時	3月3日(月)		3月4日(火)		3月5日(水)		3月6日(木)		3月7日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀 2階	瀬野 2階	熊野 2階	中須賀 2階	東海田 2階	中野 2階	追分 2階	阿戸 2階	上瀬野 3階	初神 老人集会所

平成26年産米市町村別生産数量目標

今年度より米政策の見直しが行われ、小規模農家には厳しい情勢となっておりますが、この度、米の全国の生産数量目標が昨年より26万トン少ない765万トンと設定され、広島県では前年に比べ4,270トン減の130,130トンと設定されました。管内の米市町村別生産数量目標は下記の表のとおりとなりましたのでご報告いたします。

平成26年産米の市町村別生産数量目標

市町村	平成26年産米		平成25年産米			
	26年産米の生産数量目標(kg)	面積換算値(ha)	25年産米の生産数量目標(kg)	A面積換算値(ha)	B作付実績(ha)	B/A
広島市	5,800,950	1,139.7	6,110,150	1,200.4	1,162.6	96.8%
安芸区 (2月に決定予定)	-	-	706,500	138.8	134.9	97.1%
JA安芸			689,200	135.4	131.8	97.3%
海田町	71,220	15.1	76,160	16.0	15.4	95.7%
熊野町	653,110	129.8	686,250	136.2	134.0	98.3%
坂町	8,110	1.8	8,400	1.8	1.8	100%

お知らせ

大寒を過ぎ、これから少しずつ暖くなってそろそろ畑の準備が始まる時期になります。そこで、今回トマトやキュウリ、ナスなどの果菜類などの栽培用に野菜用肥料、園芸農薬の早期予約申込書を同封させて頂いております。通常よりおトクな価格ですので、4月からの消費税増税前に是非ご注文下さい。

活菜倶楽部講習会

1月21日熊野支店、22日畑賀支店、23日坂支店にて「春播き野菜講習会」を開催しました。野菜の品種と作型について紹介しました。全農ひろしまの肥料研究所の研究者からは、これから栽培期間が長い果菜類で良質な堆肥の識別と弊害、効果的な使用法、肥料の基肥と追肥の使い分けと見方を講習して頂きました。出席者に会員割引で堆肥と肥料の注文を受けました。平成25年12月末の累計売上高は57,287,000円で累計点数424,715点でした。

昨年に比べて夏が長く高温で降雨がなく、急に寒くなり冬が来たために野菜の生育が悪く、特にキャベツやハクサイなどは結球しづらい状況が続いた為だと思われます。馬上会長から「この時期になると商品棚がさみしくなるので年間を通じてキャベツ、人参、たまねぎの需要がある為、これらを商品棚から切れないようにしてもらいたい。また、空いている畑があれば、持ち込みしやすい葉物類など軽量野菜をパオパオなどの保温資材で簡単にして作付してください。」と挨拶がありました。



広島県JA農産物検査協議会

1月24日広島県JA農産物検査協議会へJA安芸の検査員が出席しました。平成25年度産米の品質状況、検査結果、適正な検査証明の実施、検査精度の向上などの講義を受けました。早生品種において基部未熟、背白、乳心白粒等の白未熟粒の基準検査判断の研修を受講しました。これからも公正かつ適正な検査を行っていきます。

ひろもり産直市

1月7日に熊野町の馬上様が「ひろもり産直市」で七草セットを出品・販売されました。当日は天気も良くテレビでの宣伝効果もあり、平日のお昼にもかかわらず沢山のお客様が購入しておられました。

馬上様は、「古来よりの食文化である七草粥も食生活の変化で食べる機会が減っており、新たなレシピなどを提案しないと販売が伸びていかない」とおっしゃられ、粥以外に鍋や天婦羅などの食べ方を紹介されました。

